



2023 年 4 月
No. 454 号

森松武将隊

2023 年 5 月

桶狭間古戦場祭りに

いざ出陣!



今年 5 月 1 4 日開催 (予定) の桶狭間古戦場祭りに

約 3 年振りに森松武将隊の参加が決定しました!

久しぶりの出陣ということで森松武将隊も気合十分!

2023 年の初陣に乞うご期待!!

新しい季節

森 直樹 (代表取締役社長)



段々と桜の開花が楽しみな気候となってきました。森松では今年、新卒生の入社はありませんが中途による募集、採用を進めております。今月、来月と入社を控えている方もあり、またこの社内報を通じて皆さんに紹介する機会があるかと思えます。新たに入社する方たちは、中途ということで既に社会人経験がありその仕事の経験は様々ですが、異なる業界での経験は森松でも生きてくると思えます。また社内だけでは思いつかないようなことも、外部からの刺激によって生まれてくるでしょう。会社という組織の成り立ちとして、従業員一人ひとりの異なる経歴、経験や年齢の違いは当然有ります。その中で、私達の「プラスチックを加工し、製品を作り、販売する」という仕事によりそれぞれが自身の勤めを果たしていく、それがお客様の役に立ち、結果として社会に貢献することへと繋がっていきます。そのためにもより多彩な人材が集まり、同じ目的に向かっていくことでひとりひとりの個性を活かす、その人の持つ才能や技術を活かしていく。そしてまた、私達の仕事の可能性、つまりできることが広がっていく、そんな組織で在りたいです。

2023年の「どうすりゃいい

牧野 光昌（企画営業部）



昨年末の社内報で来年の楽しみとして挙げた「レジェンド&バタフライ」と「どうする家康」について感想を述べたいと思います。映画「L&B」は木村が主演となっているが、綾瀬とのダブル主演だと感じました。この二人でこの時代劇を作ったのはベストマッチですね。史実の見方を少し変える事で歴史の「レジェンド」魔王信長が、通常は描かれない「良き夫」となり、歴史的には謎の多い正室の帰蝶を演じた綾瀬は、兎に角アクションがハイレベルでカッコイイ。次回主演映画の「リボルバー・リリー」が楽しみだ。そして「蛙の香炉」を軸に、二人のロマンスへと展開していく。なぜか少しタイタニックっぽい所が面白い。そして撮影場所も京都を中心とし、普段はお目にかかれなような場所で撮影されたシーンもあり、複数回は観てみたいと思う映画でした。そして第62回目の大河ドラマ「どうする家康」は、いまいちの評価が多い中で、スタートから3ヶ月が経過しましたが、これを学芸会とみるか史実に忠実であるか考えるかは視聴者の自由であると思います。どこで死んでもおかしくないような危機の連続の家康の人生は、こんな人だったから、災いが降り注ぐ中で家臣に救われながらゆっくりと天下人に向かって歩いて行ったのだなと私は感じました。もし勇敢な武将だったら大高城で信長に殺されていたのでしょうか。家康のドラマでも三河一向一揆の拠点となる本證寺が登場する事は少ないですが、実は私の実家の近くにあるので、興味深くみました。全体的にちょっと気になったのが、背景のCGのクオリティです。往年の大作映画『風と共に去りぬ』っぽい。往年のあれは絵だったようですが、戦国の時代を感じさせる雰囲気を狙っているのだろうか…？このふたつの作品に共通するのは脚本家・古沢良太氏である。時代劇脚本をあまり手掛けてなかったが、戦国という背景に現代に通じる普遍的な絆を主軸とした人間愛の物語を載せて展開させていくのは彼ならではの作風であると思いました。三谷幸喜とは違った意味で楽しんでおります。最後にもうひとつ、「どうすりゃいいんじゃ〜っ！」が流行語大賞にならない事を祈ります。

花粉症

村橋 敦士（総務・経理）



今年も、「あいつ」が静かに襲って来ました。私が1年を通し、最も嫌な約2ヶ月を過ごす事となる「あいつ」とは「花粉」の事です。私が花粉症だと認識し始めたのは大学を卒業して地元に戻ってきた22歳頃。当初は、風邪だと強がっていたが、鼻水・目のかゆみが一向に治まりを見せず、花粉症だと認識した。それからは、花粉症に良いとされるルイボスティや甜茶を試したりする等、薬に頼らずに花粉症と闘ったが、やはり手強かった。症状は緩和されず、止む無く市販薬を長年服用してきた。しかし、3年程前から服用しても効果が見られず、仕方なく耳鼻科を受診する事に変更した。先日、今年用の薬を処方して頂くため、携帯で予約を取る。予約システムではご丁寧に「あなたは〇〇番目 およそ〇〇時間待ちです」と教えてくれる。予約開始となる8時過ぎ、午後診療の予約を取るが、既に「あなたは93番目、およそ2時間30分待ちです」と表示された。自分の順番が近づくとメールで教えてくれるため、院内で待つ時間は数分程度となった。コロナ前は、毎回電話で予約を入れていたため、いつ呼ばれるか分からない院内で待つ時間もなくなり、この点はコロナによる恩恵の一つだと感じた。春と言えば、桜の季節であり、ポカポカ陽気で出掛けたい気持ちはある。しかし、恒例行事の様に訪れる花粉症に毎年辟易しており、出来れば外出すらしたくないのが本音で、妻にはそんな私の心を見透かされている。妻からは『そんなに嫌なら「舌下免疫療法」をやれば良い』と辛辣な言葉を毎年の様に言ってくる。「舌下免疫療法」を調べると、症状の緩和・QOLの改善・根治の可能性もあるとされるが、3年を目途に毎日忘れずに治療薬を服用する事と記載がある。3年間、毎日、服用…。そこまで根気強く続けられない。現状は、春のスギ花粉だけですが、万が一、秋のブタクサにも反応してくるようになった際には、1年間の中で4～5ヶ月を花粉と闘う事なるため、その際には「舌下免疫療法」も視野に検討したい。

相棒

加藤 雅昭 (企画営業部)



私には35年間付き添ってくれている相棒がいる。四国・近畿から東北、北海道までいろいろと一緒に走ってくれている。『ホンダ GB250』学生時代はXE50、こいつで九州一周、山口方面を走っていた。その後『ホンダドリーム 250T』大学卒業後に手に入れたが、走らん・曲がらん・止まらん の3重苦で、八ヶ岳ではアクセルやイヤーが切れるトラブルも。事故する前に初めての新车『GB250』変えました。それから35年間よく付き合ってくれています。子育ての頃はなかなかかまってくれず、キャブや燃料コックが詰まってしまうしばらく動かさませんでした。なじみのバイク屋さんでも、ここ数年とても楽しませてもらっています。メインは知多半島の農道・味覚の道+海岸線。この間にあるクリスマスローズの丘・樽水本宮山・高砂山公園・岩屋寺・富士ヶ峰神社・幡豆岬は定期コース。山コースは三河湖・くらがり溪谷・かおれ溪谷・松平豪展望台・大滝溪谷などなど見どころ一杯。今年の誕生日には子供たちから冬用のバイクグローブをもらっちゃいました。しかしこの冬、寒さでタイヤも硬くなっていることもありますが、コーナーでアクセルを開けるとタイヤがズルズル空転…。久しぶりに冷や汗かきましたが、外足を踏ん張りどうにかクリア。タイヤか…?何年かえてない?10年?15年?さすがにマズイな、カッチカチ…。チェーンの調整もそろそろ限界近いしとということで、タイヤ・チェーン・前後スポロケット交換!チェーンは手入れをしていたつもりでしたが、流石新品。スポロケットも新品の為、どれもスムーズに駆動してくれます。またまた気持ちよくツーリング。目新しい新车たちにも目が行きませんが、やっぱりこいつが一番。一生物にしていこうと思います。退職後はやっぱり再び北の大地へ行きたいですね。昔お世話になったライダーハウスの皆さんは元気してるかな…。とりあえずその日まで体に気を付け安全運転だな。



左腕の肘の骨折

大橋 康成 (配送部)



新年早々、転倒して肘を骨折してしまいました。会社帰りに製造事務所のところにチェーンを張って帰るのですが、いつも跨いでいたチェーンを跨げず足が引っ掛かり、両足が取られ肘から落ち地面に激突。数分は、左腕の肘が痛くて身動きがとれませんでした。帰宅して傷口を消毒して痛みが治まったかと思ったが、一晩寝たら腕が上がらず手首がまわらず手の甲がパンパンに腫れており、近くのクリニックでレントゲン撮ってもらったところ、肘が骨折してました。Vの字に折れてました。治療は日にち薬しかなく腕を固定してもらって終わりです。骨折した腕が、利き手じゃなく良かったと思いましたが、何をするにも不自由で利き手だけじゃ何も出来ません。衣服を着替える事も食事をする事も車の運転も何不自由無く出来た事ができません。50代までは、簡単に片足立ちで履けたくつしたが、60代になって壁にもたれて履くか椅子に座って履く事しか出来なくなり、片手じゃ履けません。食事する時も左手に茶碗・右手に箸でごはんを食べていましたが、食べる事さえままなりません。お陰で食事する時はゆっくりとする事が出来ました。車の運転も利き手だけじゃハンドルをまわす事が出来ても、エンジンも掛けられない。ナビゲーションも操作できない。前進バックギヤも入れる事も出来ません。右腕利き手だけじゃ出来ない事がよくわかりました。何不自由無く両手、両足が動く事に感謝です。骨折完治までいろいろとご迷惑お掛けしました。定年退職まで後僅かです。頑張りますので宜しくお願いします。

2023年 桜前線・おすすめ花見スポット

乙川の葵桜



岡崎公園近くの乙川沿いにある
葵桜（河津桜）の散歩道

桜ライトアップ情報

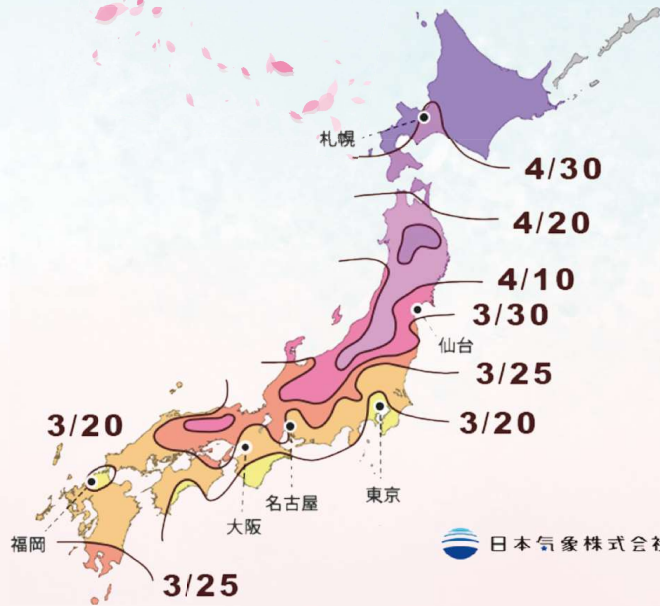
東山動植物園 宵の八重桜さんぽ

4/1(土)~4/9(日) 午後6時~午後8時30分

岡崎公園

3/24(金)~4/9(日) 午後6時~午後9時00分

※家康行列は秋に延期



仙台
4/1

東京
3/16

名古屋
3/21

大阪
3/24

福岡
3/20

東山動植物園の桜



全国から集めた100種1000本の桜が咲き競う。
夜にはライトアップされた夜桜の回廊を楽しめる。

冬キャン

大脇 勝治（製造部）



3月初旬、今回の目的地は三重県志摩市にあるアメリカンアウトドアリゾート『伊勢志摩エバーグレイズ』。今回で2回目の利用となる。ここは、日本国内での本格グランピング施設導入の先駆けと言われており、(グランピングとは…「グラマラス/Glamorous(魅力的な)」と「キャンピング/Camping」を掛け合わせた言葉で、宿泊施設や食事などがあらかじめ用意されており、気軽に豪華で魅力的なキャンプを楽しむことが出来る。)敷地内にはグランピングサイトの他に、キャビン(小屋)タイプのサイト・テントを立てて過ごせるサイトも。カヌーなどのアクティビティーや、季節イベント、ドッグランやプールなど様々な施設・設備が整っています。色々なスタイルの過ごし方が出来るのも伊勢志摩エバーグレイズの魅力です。着くなりテンション爆上がりのお子様達。部屋の中で暴れ回り二段ベッドから飛び降りて着地を失敗!肘を捻挫。『お調子者』のテンプレを披露。楽しみにしていたカヌーもパドルが痛みで思うように持てず「おれえ、みんながカヌー乗ってるとこ写真撮っとくわあ〜」本日の主演、まさかの離脱!そんなことはおかまいなしで装備を整え、待機する『マイペース女子』。一人置き去りにし出発しましたが、わずか5分程で帰還。原因としては風が少し強かったので、「揺れる!落ちる!帰るー!!!」の魔法が発動した為である。カヌー遊びを終え焚き火と夕食の準備。焚き火を完成させ、「本日のおやつ」マシュマロ串にウインナーを刺し「焚き火で炙りウインナー」を開始。これが思いのほか好評で、2袋買ったウインナーが2本目いこうとしたらすでに完売でした。夕食はみんな大好き焼肉。あっという間に完食。みんなが食べ終わったあと、私は鶏モモ串をチビチビ焼きながらマツタリ。そうこうしている内に、子供達お待ちかねのビンゴ大会がスタート。施設利用者が参加するイベントで、景品も豪華。ワクワクしながら参加しました。(今回も景品ゲットならず…)風呂を済ませ、肌寒い外でカップラーメンを食べる。隣から呪文のように聞こえる「マッチポンプ…マッチポンプ…」外で食べるカップラーメンはなぜ美味しく感じるのでしょうか。不思議ですね。なんやかんやありましたが、『魔法使い』『お調子者』『マイペース女子』と行く冬キャンは最高でした。